

# **集団健康被害発生における対応マニュアル・フローチャート**

- 1. 集団健康被害発生時の対応フロー①（初動・救助）**
- 2. 集団健康被害発生時の対応フロー②（情報集約・連絡・事後対応救助）**
- 3. 参考資料別添**
  - ①回復体位
  - ②一次救命処置
  - ③毒物・誤飲の吐しや方法
  - ④止血処置
  - ⑤エピペンの使い方
  - ⑥過換気症候群（過呼吸）処置
- 4. AED 設置場所、災害対策備品・備蓄場所**

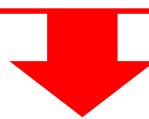
**①集団健康被害発生！ 管理職・養護教諭に第一報連絡！**



**②該当生徒の救護（養護教諭、教職員、スクールカウンセラー他）**

- ・救護場所：保健室、体育館1F探究ルーム（旧・卓球室）、その他
- ・救護対応（回復体位、AED・心肺蘇生措置※、エピペン使用、毒物中毒処置）  
※AED設置場所（南校舎玄関、北校舎玄関、体育教官室前、テニスコート）
- ・救護記録（養護教諭ほか）
- ・救急搬送の判断（付き添い教職員、生徒リスト・搬送先記録）

**③他の生徒は各クラスで待機（担任は健康状況観察）**



**③中・高対策本部設置（第一会議室）（指揮者：管理職または現場責任者 ※別表参照）**

※休日はオンラインで開始・必要に応じて管理職・運営委員会ほかを学校へ招集  
※必要に応じて、屋外に現場指揮本部を設置。

**④法人対策本部設置を要請（指揮者：理事長・法人本部長。外部機関・マスメディア対応）**

**⑤情報収集・記録（クラス担任 → 学年主任 → JS教頭 → 本部・記録 ※管理職・教務ほか）**

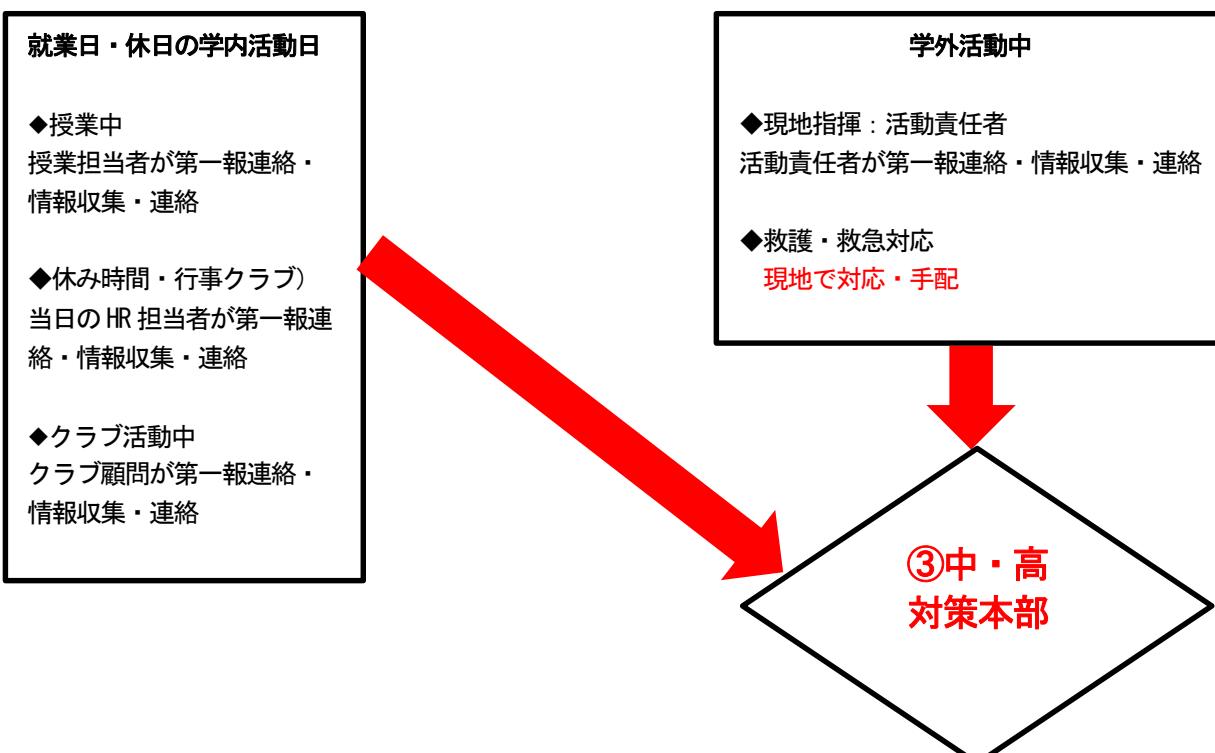
**就業日・休日の学内活動日**

- ◆授業中  
授業担当者が第一報連絡・情報収集・連絡
- ◆休み時間・行事クラブ  
当日のHR担当者が第一報連絡・情報収集・連絡
- ◆クラブ活動中  
クラブ顧問が第一報連絡・情報収集・連絡

**学外活動中**

- ◆現地指揮：活動責任者  
活動責任者が第一報連絡・情報収集・連絡
- ◆救護・救急対応  
現地で対応・手配

**③中・高  
対策本部**



## ⑤情報収集・記録

### ⑥緊急職員会議（救護終了後）

- 生徒の帰宅方法判断・保護者連絡
- 事後対応協議・確認
- 生徒の心理的ケア確認
- 生徒の通学路安全確保

### ⑦関係機関・保護者への連絡

- A 大阪府教育庁私学課、大阪府警：管理職
- B 大阪市中央区保健所、学校医：保健主事
- C 保護者（フェアキャスト、HP）：事務長
- D スクールカウンセラー：JS 教頭

### ⑧終礼・連絡、生徒帰宅

- A 帰宅後の安否確認方法、健康状態が変化した場合の医療機関受診などについて
- B 以後の授業・行事等の予定・変更について
- C ケア（心理的ケア、メディア対応およびネットリテラシー、その他）

### ⑨帰宅後の安否確認・容態集約

- A 救急搬送しなかった生徒
- B 救急搬送した生徒

### ⑩マスメディア対応

必要に応じて法人事務局が設定。

## 【回復体位について】

症状の種類にかかわらず、傷病者の安静を確保するためには傷病者に以下の体位をとらせる必要がありますが、強制ではないことに留意してください。  
各項目で回復体位を必要とされた際は以下の項目を参照してください。

### 【腹臥位(ふくがい)】

- ・腹ばいで顔を横に向ける
- ・嘔吐時や背中に負傷した際に適している

### 【回復体位（側臥位(そくがい)）】

- ・横向きに寝かせ、下あごを前に出して気道を確保し、両肘を曲げ上側の手の甲を顔の下に入れ上側の膝を約 90 度(直角)に曲げて後ろに倒れないようにする体位である

呼吸をしやすくする体位

吐いた物を口から取り除きやすい

窒息防止に有効である



←回復体位

腹臥位→

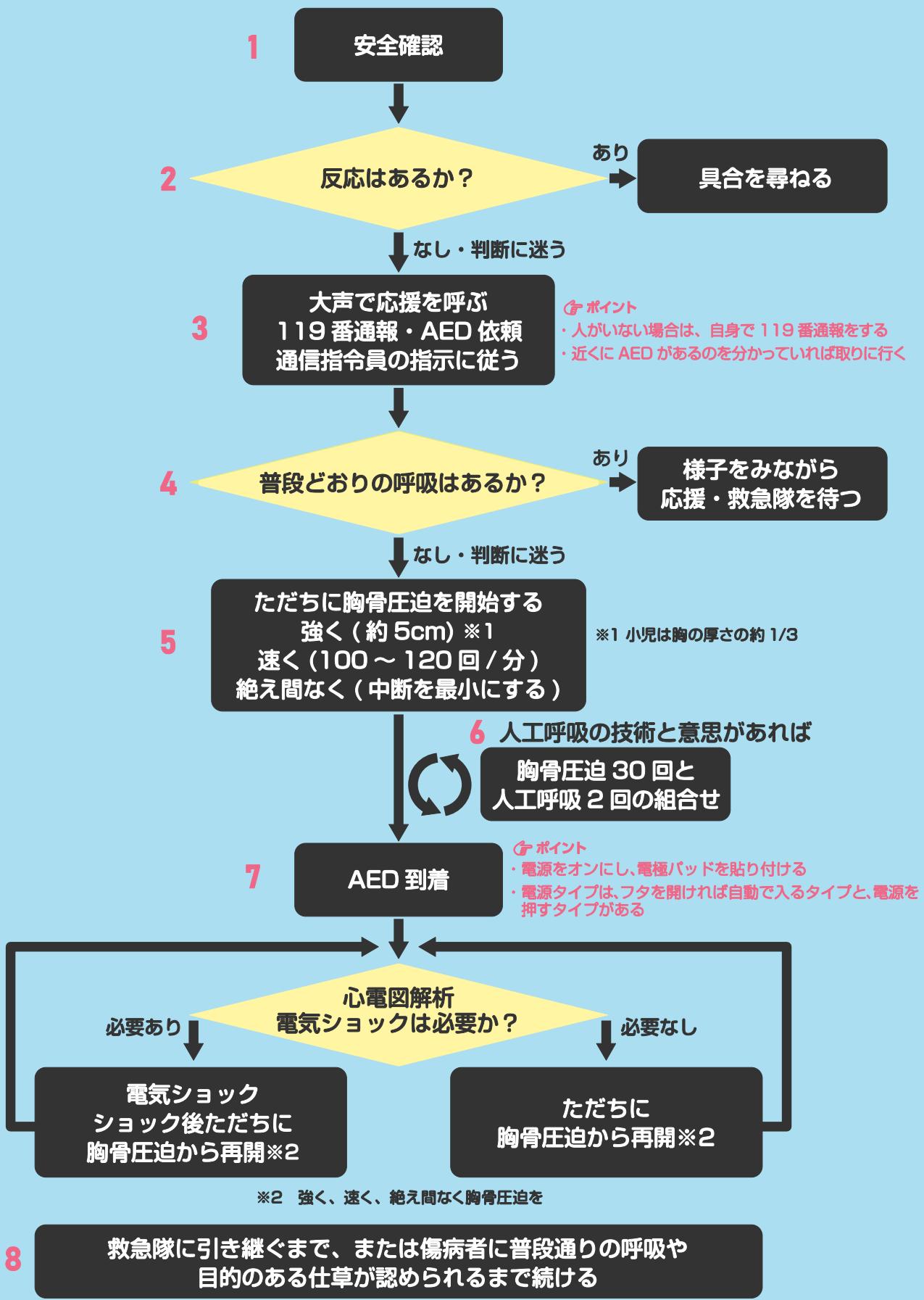




# 一次救命処置の手順

JRC 蘇生ガイドライン 2020 オンライン版準拠

**別添 2**



**ポイント**・AEDの電源は付けっぱなしで、電極パッドは貼り付けたままにする

# 別添 3

## ①フローチャート



背中をさすって、吐きたいだけ吐かせる  
※水分補給と吐いたものの処理については次ページ



衣服をゆるめ、吐いたもので窒息しないよう  
顔を横向きにして寝かせる(45°の側臥位)



嘔吐が治まったら思い当たる原因を訪ね、  
少しでもおかしいと思ったら指定の連絡先へ  
連絡



状態をよく観察

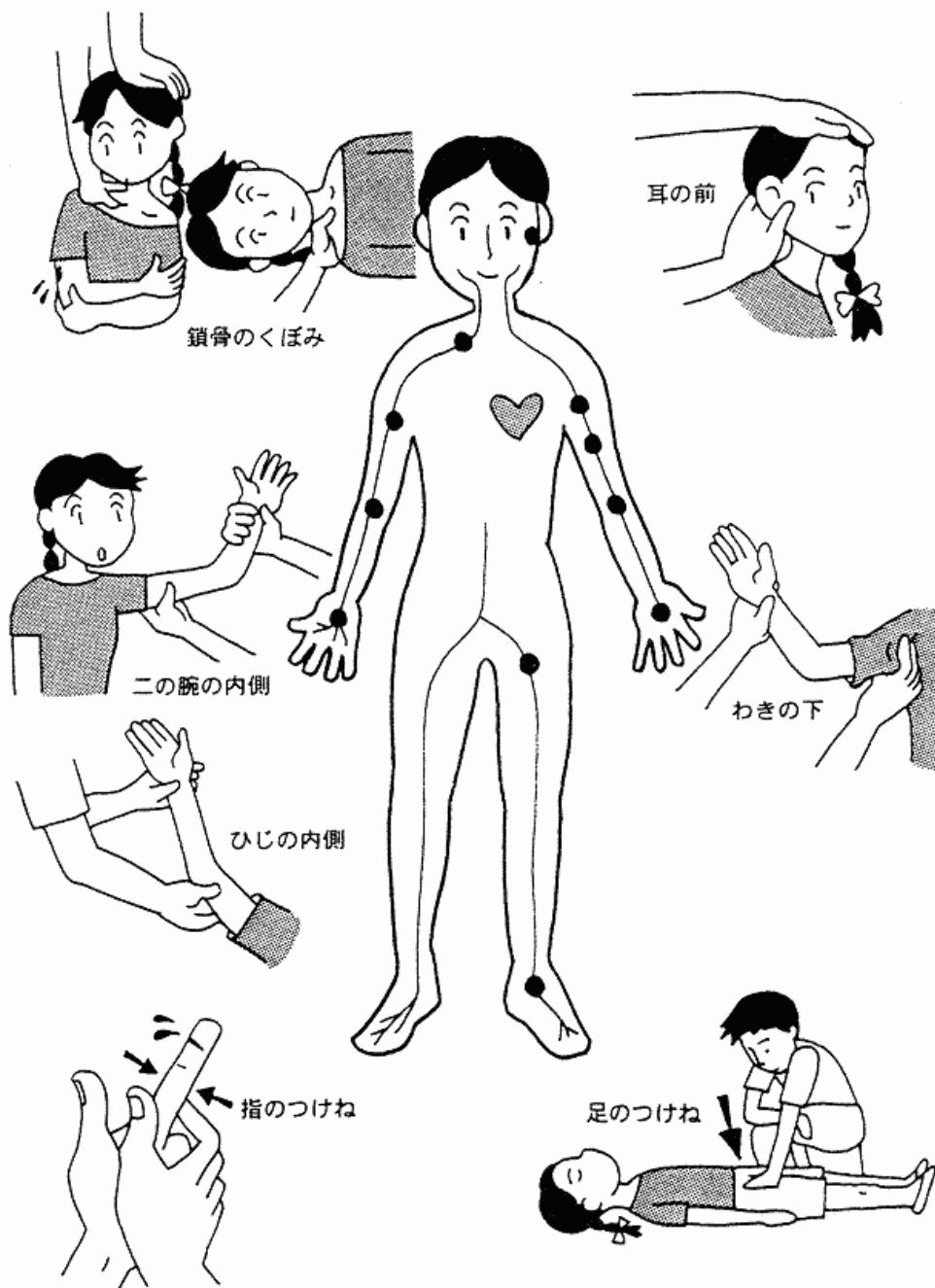
以下の4つのうち、どれか1つでもあればすぐに現場  
責任者が指定の連絡先へ連絡

- ・嘔吐が止まらない
- ・麻痺がある
- ・胸が痛い激しい腹痛が続く
- ・呼吸の状態がおかしい
- ・意識が混濁している

意識がない、または非常に反応が鈍くなってきたら心肺蘇生法を救急車が来るまで続ける。

## 心肺蘇生（一次救命処置）

### 止血処置 止血点と直接圧迫法



- ① 出血状況を確認する
- ② 動脈生出血なら直ちに止血を行う。

真っ赤な先決が吹出し  
脈打つように出血

\*血液は感染の可能性があるので  
血液に触れる時はビニール袋などを使用。  
皮膚に血液がつかないようにする。



# エピペン®の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

## ① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け  
エピペン®を取り出す

## ② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを  
下に向け、利き手で持つ

“グー”で握る!

## ③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

## ④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン®の先端  
(オレンジ色の部分)を軽くあて、  
“カチッ”と音がするまで強く押し  
あてそのまま5つ数える

注射した後すぐに抜かない!  
押しつけたまま5つ数える!

## ⑤ 確認する



エピペン®を太ももから離しオレ  
ンジ色のニードルカバーが伸び  
ているか確認する

伸びていない場合は「④に戻る」

## ⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、  
マッサージする

## 介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を  
しっかり抑え、動かないように固定する

## 注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの付け根と膝の中央部で、かつ  
真ん中（Ⓐ）よりやや外側に注射する

### 仰向けの場合



### 座位の場合



不安や緊張に襲われたとき、突然胸が苦しくなって、息を吸っても吸っても治まらず、そのうち手足がしびってきたなどの経験はありませんか？それは、過換気症候群の症状です。とくに10～20代の若い女性に多く見られますが、男性や高齢者でも起こることがあります。

なかには、けいれんを起こしたり意識を失い倒れたりすることもありますが、ほとんどの場合、発作は時間とともに治まっています。何度も発作を経験した人は「どんなときに、どんなきっかけで起こるのか」ということが分かってきます。そんな時、正しい対処法が理解できていれば、発作への不安を和らげ、未然に防ぐことができます。

発作と上手くつきあうための対処法などを中心に説明しますので参考にしてください。

### ・どうして起こるの？ 発作の原因とは

心に抱えている不安や恐怖、緊張など精神的なストレスが引き金で起こります。人によって感受性の違いはあります、発作を起こしやすい性格として、「几帳面」や「心配症」などが挙げられます。

上記以外に、マラソンなどスポーツの直後や睡眠不足などの肉体的疲労からも起こります。これらがきっかけで、脳の中にある呼吸中枢が過剰に刺激されるため、呼吸が速く・短くなります。息を「ハーハー」と吐く過剰な換気を起こすと、血液中の二酸化炭素が呼気中に多く出されて、血液がアルカリ性に傾き、次のような症状が現れます。

### ・症状

#### 呼吸器の症状

- ・ 窒息しそうな息苦しさ
- ・ 呼吸が速くなったり荒くなる

#### 神経の症状

- ・ 手足の先のしびれ感
- ・ 口のまわりのしびれ感
- ・ めまい、嘔気、冷汗

#### 循環器の症状

- ・ 動悸、頻脈

\*発作が長引いたり悪化するときいれんなどを起こし、意識が消失することがあります生命に関わることはありません。

### ・紙袋はホントに効果があるの？ 発作が起きた時の対処方法

血液内の二酸化炭素濃度を上げる目的で、紙袋を口と鼻にあて、吐いた息を再度吸い込む行為を「ペーパーバッグ法」と言いますが、実際には、繰り返し行っても二酸化炭素の濃度はさほど上がらず、ぴったりと袋をあてることで、逆に酸素濃度が低下し、酸素不足になり、窒息する可能性があります。

**正しい適切な対処法は、まず呼吸のリズムを整え、正常に戻すことが大切です。**

ポイントは息を吸う、吐くを1：2の割合で行い、1回の呼吸に10秒ぐらいかけてゆっくり行います。このとき、周囲にいる人が過剰に心配し反応してしまうと、本人が余計に不安定となり、却って症状が悪化するものもあるので、なるべく冷静に対処しましょう。介助する時は、速くなった呼吸を整えるために、ゆっくり背中を押してあげると効果的です。

## 災害対策備品・備蓄（中学校・高等学校、学院共通）2020現在

### ◆AED(自動体外式除細動器)

体育教官室前、テニスコート、北校舎1F 会議室前、南校舎2F 玄関

#### ①正門南側 備品・備蓄物置（鍵はJ教頭席横・試験ロッカーキー置き引き出し）

軽油 60L×2、給油ポンプ、電工ドラム(30L)×2  
投光器(500W)×2、LED 照明(500W)×2、(40W)×10  
手回し・ソーラー充電ランタン×10、ランタン懐中電灯×20  
手回し充電ラジオ・ライト×2、ラジオ×2  
短4乾電池(1パック4本)×94パック  
災害用圧縮毛布30パック  
床面養生シート6ロール

#### ②グランド東側

ディーゼル発電機×1

#### ③体育倉庫

トイレ（洋式×7、多目的×1、小用×2）、使い捨てトイレ400  
アルミブランケット2500、エアークッション100

#### ④南校舎3-5F給湯室

水500ml×1,120×本、非常食2,020食

#### ⑤チャペル・旧ボイラー室

水500ml×10,400本、非常食2,000食

#### ⑥学院食堂提供

災害時自販機無償（飲料500本×10）5000本

